

靱性モルタルキーパー

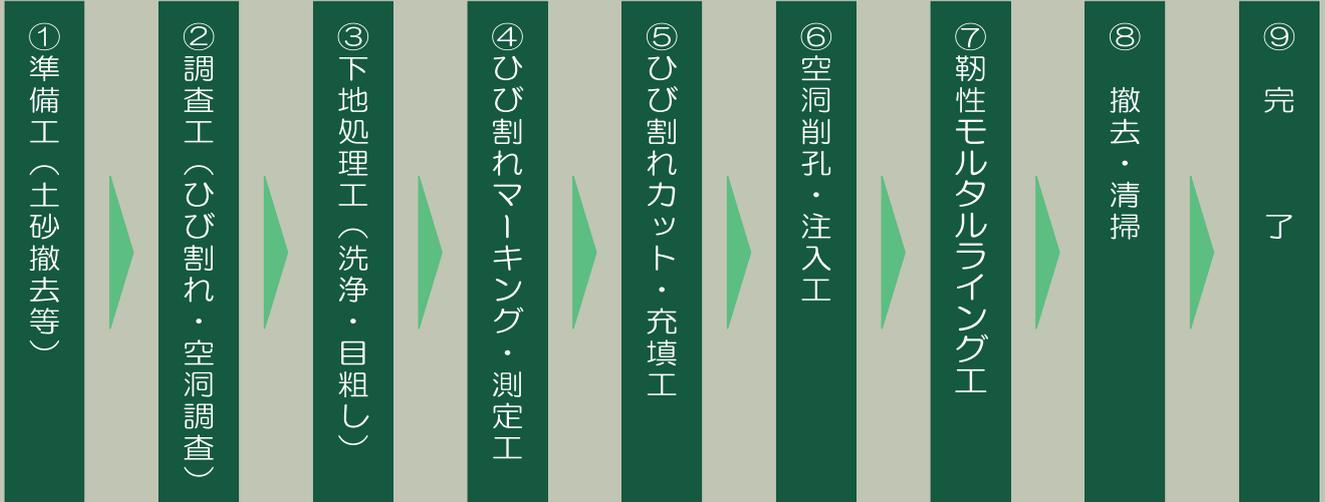
法面靱性モルタル表面保護工法

近年各地で、既設吹付け法面の補修要望が高まっています。靱性モルタル表面保護工法は、災害予防を目的とした法面再生を図る工法です。



株式会社デーロス・ジャパン

施工手順



① 準備工 (土砂撤去等)



④ ひび割れマーキング・測定工



⑤ ひび割れカット・充填工



② 調査工 (空洞調査)



⑤ ひび割れカット



⑦ 韌性モルタルライニング



③ 下地処理工 (洗浄・目粗し)



⑤ ひび割れ充填工



⑨ 完了

※ ⑥空洞注入工は必要に応じて行います。

仕様

標準配合表

Type-C (ひび割れ補修用)

	A材 (粉体)	B材 (短繊維)	C材 (混和材)	備考
1袋当りの標準配合量	10kg/袋	0.12kg/袋	3.0kg	見掛比重 1.7

Type-S (法面保護用)

	A材 (粉体)	B材 (短繊維)	C材 (混和材)	水	備考
1袋当りの標準配合量	20kg/袋	0.25kg/袋	4.0kg	2.4±0.2kg	見掛比重 1.95

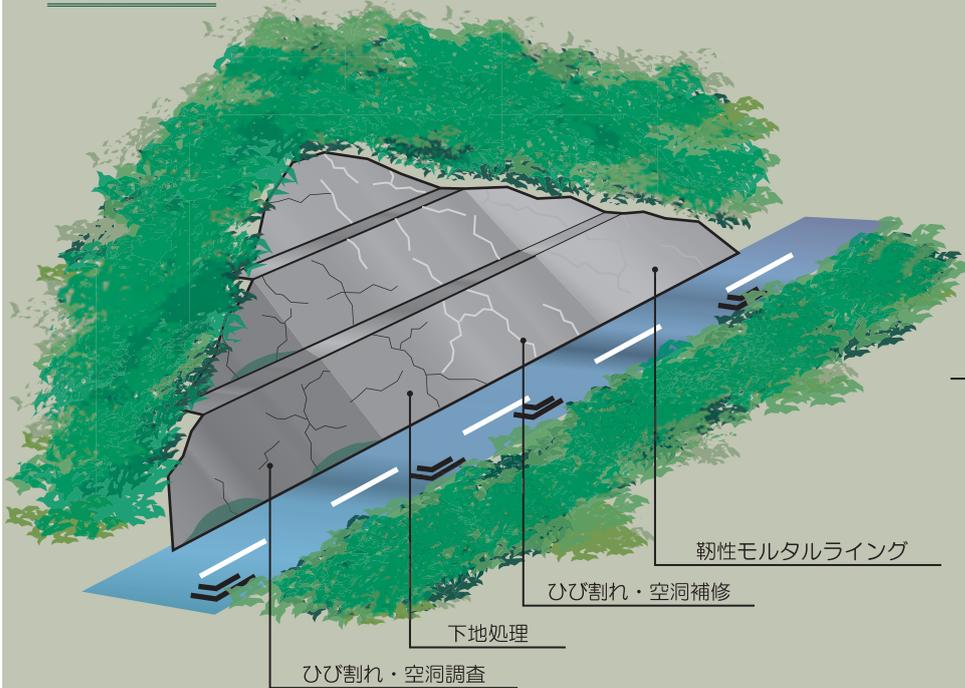
法面靱性モルタル表面保護工法とは

特殊ポリマーセメントモルタルにビニロン繊維等を混合して作った材料（靱性モルタル）で既設法面のひび割れ部と表面を補修する工法です。

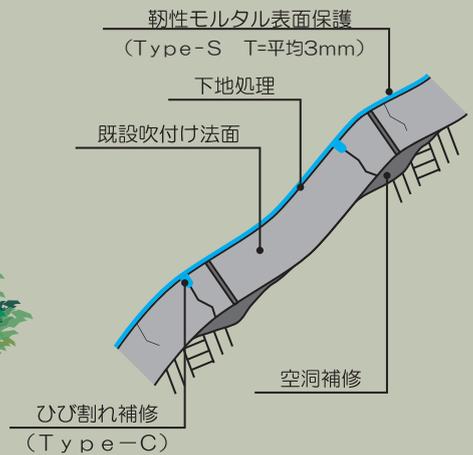
靱性モルタルは、付着性、伸縮性、曲げ剛性等に優れているうえに、高い耐久性を有する不燃性無機系の材料です。

構造的にも、靱性モルタルをひび割れ部へ充填、表面に平均 3mm（ $t = 2 \sim 4\text{mm}$ ）厚で吹付けるといったシンプルな構造です。

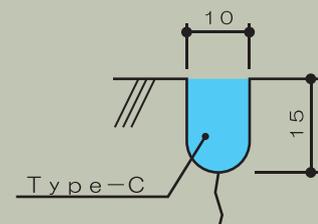
補修イメージ図



標準断面図
no scale



ひび割れ補修 参考図
no scale



法面靱性モルタル表面保護工法の特徴

優れたひび割れ抵抗性

引張終局ひずみ0.1%以上の性能を実現したことで、従来ポリマーセメントモルタルと比べ、ひび割れ抵抗性に優れた材料です。

既設法面安定性

吹付け厚さ（ $T = \text{平均}3\text{mm}$ ）が薄く、単位体積重量も軽いため、既設法面の死荷重を増大させることなく表面保護が図れます。

工期短縮

既設構造物を残したまま施工できる工法で、下地処理、ひび割れ補修・空洞充填後に吹付けするシンプルな施工で工期短縮が図れます。

経済性

既設構造物の取壊し作業もなく、大掛かりな仮設、機材を必要としないため経済的な施工が可能です。

環境性 (eco)

既設構造物の処分を必要としない、環境に配慮した工法です。

靱性モルタルの物性値

試験項目	規格値	試験方法
圧縮強度	15.0 N/mm ² 以上	JIS A 1171
曲げ強度	8.0 N/mm ² 以上	JIS A 1171
付着強度	1.5 N/mm ² 以上	JIS A 1171
引張強度	3.0 N/mm ² 以上	土木学会 ダンペール型一軸直接引張試験
引張終局ひずみ	0.10% 以上	

施工実績




株式会社トーエス 名古屋支店
 〒464-0025
 名古屋市千種区桜が丘295番地 第8才処ビル6B
 TEL. 052-789-1036 FAX. 052-789-1037

【発売元】



株式会社デーロス・ジャパン

本 社 〒921-8005 石川県金沢市間明町2丁目70番地
 TEL (076) 229-7260 FAX (076) 229-7261

【製造元】



株式会社ビルドラウンド

〒921-8064 石川県金沢市八日市3丁目514番地
 TEL (076) 269-3414